

銀行名	南都銀行
タイトル	奈良県産野菜・果物を使用した新たな漬物の開発支援を通じた地域活性化
取組み内容	○平成26年度、当行営業エリア内の創業・新事業展開支援を通じて地域活性化を図るため、弊行ビジネスプランコンテスト「<ナント>サクセスロード」を開催。 ○大阪府や奈良県内で洋風レストランを10数店舗展開するA社から「奈良県産野菜や果物を使用した新たな漬物を開発し、奈良県の名産品に育てたい」とのビジネスプランの応募があった。 ○平成26年8月、選考過程の中で、代表者との面談を通じて地域活性化への貢献度が高いと評価され、優秀プランとして表彰。賞金50万円を付与するとともに、当行専属担当者による事業化のサポートを開始。（事業化にかかる費用100万円を別途支援） ○代表者へ事業化にかかる課題をヒアリングしたところ、奈良県産の野菜・果物や調味料の仕入ルートが無いことから、奈良県内の当行取引先である農業法人B社、調味料製造企業C社・D社を紹介し、食材が決定。 ○試行錯誤の結果、試作品が完成。次にどのような業種や地域にニーズがあるかマーケティングのため、平成27年11月に当行主催の食品展示会「地方銀行フードセレクション2015」（東京ビッグサイト）へ出展。 ○上記展示会において、多くの食品バイヤーが強い関心を持ち、主に百貨店や土産物店など100社を超えるバイヤーと名刺交換し、継続商談を約すなど一定の成果があった他、バイヤーのニーズ（単品だけでなく、奈良県の名産品とのセット販売）を知ることができた。 ○展示会終了後、代表者と打合せを行い、首都圏バイヤーのニーズに対応するため、「三輪素麺」とのセット販売の実施に向けて、三輪素麺の老舗企業E社を紹介したところ、コラボが決定し製品化した。 ○併せて、東京の奈良県アンテナショップを紹介し、商品展示が決定。 ○平成28年4月、一定の販路を確保したことから正式に販売をスタート。 ○今後、同製品を奈良県内の地域活性化の目玉として育てるべく、サポートを続けてまいります。

銀行名	南都銀行
タイトル	A B L、外部支援機関を活用した事業再生支援
取組み内容	【動機（経緯）】 ○老舗清酒業者のA社は、清酒消費量減退の影響から売上が減少、過去の設備投資等の借入返済負担が重く、資金繰りも悪化したため、平成24年に再生支援協議会関与の下、当行主導にて長期リスクを含む再生計画を策定。 ○販売施策には、これまで主業としていた清酒に加えて、市場の拡大が見込まれたリキュール商品の販売に力を入れることとした。 ○以降、モニタリングを継続する中、主要施策としたリキュール商品の売上が好調に推移し、直近2期連続で好決算となった。 【取組内容】 ○業績回復を受け、リスク取引の正常化を含む前向きな取組として、認定支援機関を活用した事業計画の再策定を提案。 ○季節資金を含め運転資金需要に柔軟に応えるため、リスク債権の内、経常運転資金部分については、動産担保融資（A B L）を活用し、当座貸越枠を設定。 ○また、資金繰り安定化と財務強化を図るべく、政府系金融機関の資本性ローンを紹介し、当行と協調で長期のニューマネーを提供。 【取組みの成果】 ○業績低迷時にも、取引先との密接なコミュニケーションの下、経営課題を共有し、収益増強策を共に考え、実行することで業績改善に結びつけた。 ○経営改善支援の結果、業績好転した際には、A B L・資本性ローンを有効に活用し、リスク債権の正常取引化、新規資金の調達を実現。更なる業績進展に向け、円滑な資金調達ができる態勢を構築することができた。

銀行名	南都銀行
タイトル	奈良県観光活性化ファンドを活用した「創業・新事業の開拓を目指す取引先等のサポート」
取組み内容	○平成27年9月、グループ会社の南都ディーシーカード(株)とともに、(株)地域経済活性化支援機構(ＲＥＶＩＣ)、(株)日本政策投資銀行(ＤＢＪ)、および(株)リサ・パートナーズと協働して「奈良県観光活性化投資事業有限責任組合(奈良県観光活性化ファンド)」を設立。 ○当行は、本ファンドを通じて、必要な資金の供給、ノウハウ等専門的スキルの活用等を行うことで、宿泊観光環境の整備、魅力ある地域資源を活用した観光活性化を図り、県内宿泊需要の喚起・観光消費額等の増大等を目指しています。 ○平成28年4月、「奈良県観光活性化ファンド第1号案件」として築160年の奈良市文化財の商家をゲストハウス併設のレストランに改装する資金として2,000万円を投資。 ○今後も、参画各社が有する専門的知見、ネットワークおよびファイナンスノウハウを活用し、奈良県内の観光産業の活性化に資する企業への成長資金の供給等を通じて奈良県経済の活性化に貢献してまいります。



奈良県観光活性化ファンド投資対象物件

銀行名	南都銀行
タイトル	ホッケーを通じた地域スポーツ振興
取組み内容	【継続取組】 ○ホッケースクールの開催（当行ホッケー部員が指導） ・目的：ホッケーを通じた社会・地域貢献、ホッケー競技の普及と裾野拡大 ・内容：奈良県および奈良県近郊在住の小学生を対象としたホッケースクールを銀行のグラウンドにて実施。今年度は年間４回開催、１回約５０名を募集。 【新規取組】 ○行政（奈良市）と提携し市内小中学校へ訪問しスポーツ指導を実施 ・概要：平成２８年４月、奈良市より当行ホッケー部が『Top Sports City 奈良』のパートナー認定を受ける。（奈良市をホームタウン（本拠地）として活躍するスポーツ競技のトップチームに対し、奈良市がパートナー認定するもの） ・目的：スポーツの素晴らしさを伝え、奈良市のスポーツ振興・推進に寄与し、青少年の健全育成、地域の活性化、その他社会貢献等を図る。 ・内容：学校巡回事業（市内の小中学校を選手が訪問し指導する。 年間３～５回、１回約２時間程度。） 他のパートナーチームとの合同ファン感謝デーの開催。 奈良市の事業や各種イベントへの参加、ＰＲ活動。



ホッケースクールの模様

銀行名	南都銀行
タイトル	「ナント・なら応援団」による観光ボランティア活動
取組み内容	○ 当行退職者から成る「ナント・なら応援団」は、県下の社寺等において拝観のボランティア・グループで、平成 2 2 年開催の平城遷都 1 3 0 0 年祭を機に結成。 ○ 奈良県内各地で文化財を特別公開する「祈りの回廊 秘法・秘仏特別開帳」等において、元銀行員のきめ細やかな対応を強みに活動し、観光客から好評を得ています。 ○ 平成 2 8 年春には全 6 か所でガイドを実施。今後とも観光県奈良の活性化に取り組んでまいります。 矢田寺での研修会の模様